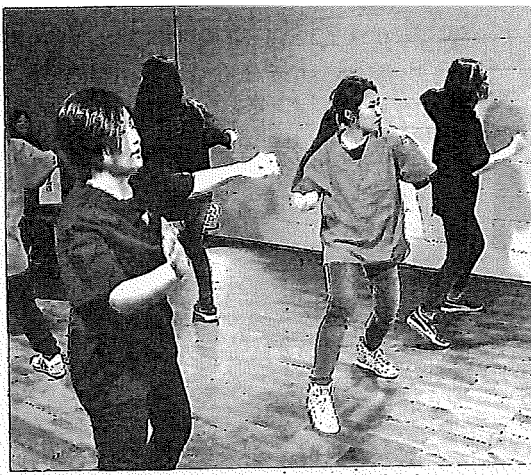


# 喫煙防止ダンスで訴え

## 学生ら出演、お披露目

弘前

「灰皿 自販機 もう素通り 元気 長生き NO SMOKING」。弘前市などの若者が喫煙防止



喫煙防止を呼び掛けるストリートダンスを披露する学生ら

い世代を中心に喫煙防止の普及を図る。

映像は同市のダンススタジオ「ファンキースタジアム」(岩淵伸雄代表)が監修。小学生から社会人まで47人が出演している。

同市のラッパー・竜生(本名・平山竜生)さんが作詞。「吸っていないのに脳卒中の危険性ありってご一思っちゃっゅー?」「興味で始めちゃダメダメ 未成年喫煙まーねまーね」など津軽弁の軽快なフレーズに合わせて、出演者が躍動的なダンスを繰り広げている。

この日は、喫煙防止をテーマに座談会が開かれ、学生ら約80人が参加。続いて映像が発表され、その後、出演者が登場して踊り、会場を盛り上げた。

岩淵代表は「たばこを吸わない小中学生が参加すること



東奥日報

で、受動喫煙という考えを自然に身に付けてもらいたい」と期待。出演した弘前大学医学部医学科3年の浅田萌々子さんは「こういう形で喫煙防止を図るのは珍しい。活動が弘前から世界に広がってほしい」と話した。

映像は保健所管内のイベントなどで流すほか、同日から、動画サイト「ユーチューブ」の同スタジオのチャンネル(<https://www.youtube.com/user/HirosakiFUNKYSTADIAUM>)で公開されている。(佐藤彩乃)